



【 雨の中でも元気に登校する子供に感銘を受ける 】

○ 今日の朝は、雨が降っていました。傘をさしている子供、カッパを着ている子供。いずれにしても、子供たちは雨の中、元気に歩いて登校していました。多くの子供は挨拶もしていました。



○ 私は見ていて、「**子供ってすごいなあ。**」と思いました。**雨の中でも、**

家から長い距離を歩いてくるからです。途中、雨が服や皮膚にかかって、冷たい思いをした子供もいるはずです。実際に、「靴下がベチョベチョになった。」と私に言いに来た子供がいました。また、「途中、車が通り過ぎ、私たちに雨水がかかった。ズボンがかなり濡れた。」と言いに来た子供もいました。遠い距離を歩いている上に、このような不快な出来事に遭っても、**決して弱音を吐かない**どころか、**前を向いて堂々と歩く姿**に感銘を受けたのです。

○ 車に乗るのが習慣化になっており、なかなか歩くことのない私は、「雨の降っている中、自分なら歩けるかな。しかも毎日。」と思いました。自分にはない、**子供のエネルギーのすごさ**に感銘を受けたのです。

○ 左の写真は、タイルが敷き詰められている所を通っている子供たちです。子供にとって、タイルとタイルの間に「線」があるように見えます。その「線」を踏まず、タイルの上を歩こうとしています。このように、雨が降っていても、**自分たちで楽しみを見つけて登校する子供の前向きな姿勢**にも、感銘を受けるのです。私は、「**子供を見習いたい。**」と思いました。



○ **子供から学ぶことができる学校は、「学びの宝庫」**です。